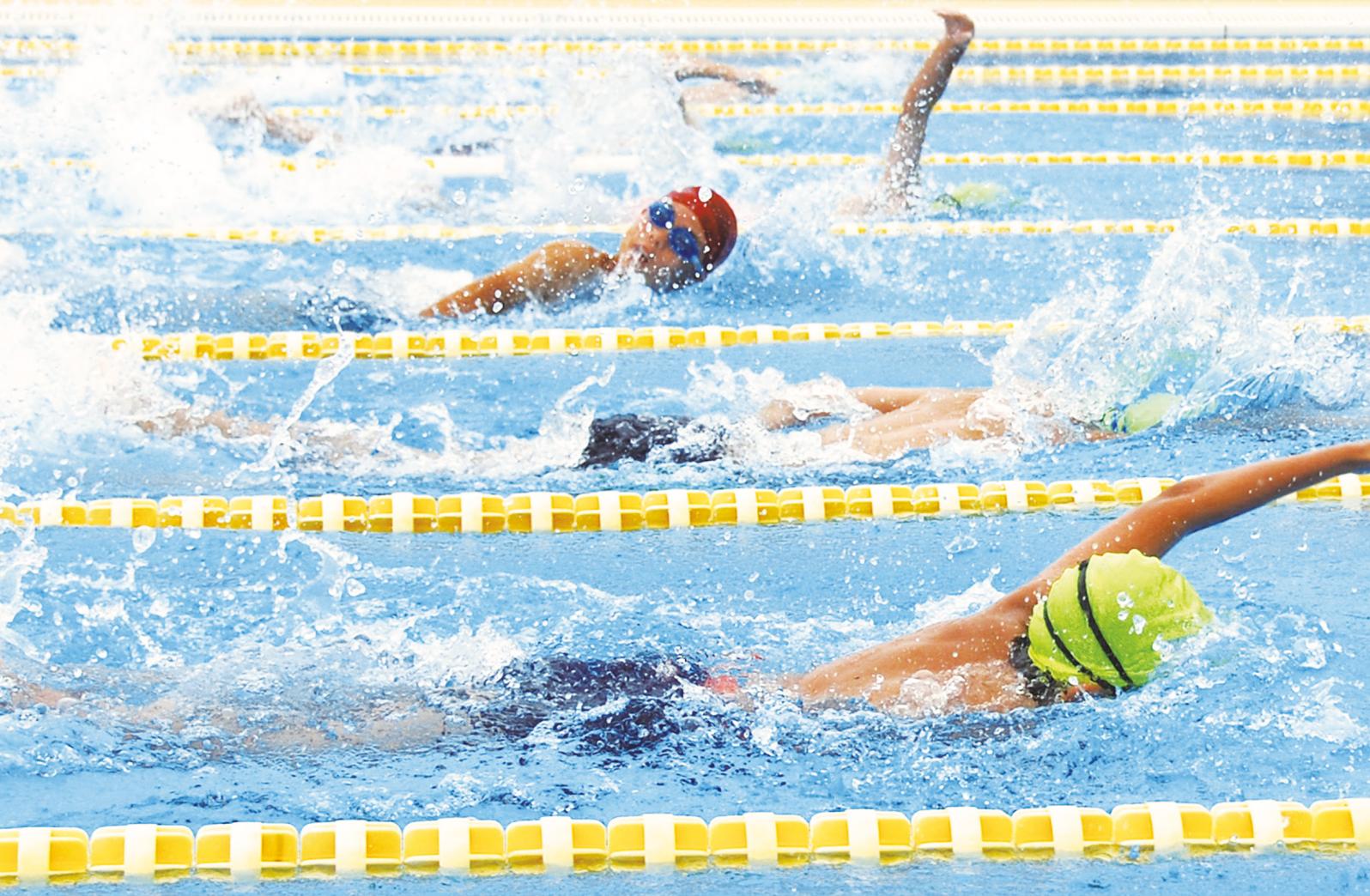


ゆり
はま

議会だより

第39号

平成25年8月1日発行



6月定例会

水しびきをあげて (湯梨浜町児童水泳大会)

○ 町 HP 上で動画配信中!

○ 提出議案の内容 2面

○ 一般質問 7人の議員が問う 6面

○ 常任委員会審議内容等 12面

○ 中学校統合を考える 14面

梨産地化支援 新品種に期待

平成25年6月定例会が、6月14日から21日までの8日間の会期で開催されました。

今定例会に提案された平成25年度各会計補正予算、条例の制定・改廃、人事案件などの議案を慎重に審議し、提案された19議案すべて、原案のとおり可決（同意）しました。
さらに、国に提出する意見書3議案、特別委員会を設置する2議案も原案どおり可決しました。

補正予算

☆一般会計

歳入歳出それぞれ5170万2千円を追加し、補正後の予算の総額を88億3170万2千円とするもの。

主な補正内容は次のとおり。

- 東郷発！梨新品種での産地化支援事業 40万2千円
町内農家が品種改良した優良な梨の新品種（露地栽培の青梨にもかかわらず、8月上旬収穫で高糖度）を生かした産地づくりを進めるため、支援補助をする。
- 東郷果実部を中心とした組織が新品種の栽培技術を早急に習得すること
- 梨春期低温降ひょう被害対策緊急支援事業 452万4千円

ひょう被害に緊急支援

●梨春期低温降ひょう被害対策緊急支援事業 452万4千円



梨の新品種を育種

4月にひょうが降ったことにより、被害を受けた梨農家に対し、病害発生を防ぐための緊急防除費用を補助支援する。

●風しんワクチン接種事業 128万円
19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性及び妊婦の夫に対して、ワクチン接種費用の一部を助成

する。

免疫を持たない女性が妊娠中に風しんに感染すると、胎児が先天性風しん症候群にかかるおそれがある。ワクチン接種により、妊娠中に風しんにかかることの予防や、妊婦に風しんをうつすことの予防につながる。

●コミュニティ助成事業 858万3千円

財団法人自治総合センターからの助成金を3集落（北福・佐美・筒地）へ助成する。
町でも助成金を利用して除雪機（2台）を購入し、さらら工藝品工房及び東郷運動公園に配置する。



町のPRにつとめる「ゆりりん」

天女で全国へ発信

●天女のふる里づくり事業

225万円
全国都市緑化フェアのサテライト会場である燕趙園（またはあやめ池公園）で、NHK番組「趣味の園芸」の収録及び関連イベントを県と連携して行う。

視聴者、来場者に対し、東郷湖及びシンボルである天女を周知する

●コミュニティ施設管理臨時経費

2200万8千円
ことにより、全国へ向けて湯梨浜町をPRする。

花見コミュニティ施設敷地内に、東郷地域の新保育施設を建設するのに伴い、当初予算では体育館、プール及びびりレの解体費を計上していた。管理教室棟は、従前より「羽合ひかり園」が利用していたが、5月に

旧羽合幼稚園に移転した。老朽化のため再利用は困難であり、併せて解体する。

尾崎家住宅秋に公開

●尾崎家住宅重文指定記念事業

32万円
宇野の尾崎家住宅が、7月に国の重要文化財指定を受ける見込みである。それを受けて、すでに国の名勝となつてゐる庭園と併せて、秋に記念講演会及び一般公開を行う。

☆国民健康保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ153万9千円を減額し、補正後の総額を18億9859万5千円とするもの。

《主な補正内容》

人事異動に伴う職員人件費の補正。

☆介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ8万9千円を減額

し、補正後の総額を17億3419万3千円とするもの。

《主な補正内容》

人事異動に伴う職員人件費の補正。

☆下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ35万6千円を追加し、補正後の総額を10億7309万3千円とするもの。

《主な補正内容》

人事異動に伴う職員人件費の補正。

☆簡易水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ73万7千円を追加し、補正後の総額を4237万2千円とするもの。

《主な補正内容》

人事異動に伴う職員人件費の補正。

☆橋津財産区特別会計

歳入歳出それぞれ17万6千円を追加し、補正後の総額を54万5千円とするもの。

《主な補正内容》

橋津地区公民館の修繕に要する費用。

☆国民宿舎事業特別会計

収益的支出の事業費用を133万5千円減額し、補正後の総額を3億3462万5千円とするもの。

《主な補正内容》

職員の異動に伴う手当の減額、法定福利費・退職手当負担金の減額。

☆水道事業会計

収益的支出の予定額、水道事業費用を390万5千円追加し、補正後の総額を1億7906万円とするもの。

《主な補正内容》

人事異動に伴う職員人件費の補正。



重要文化財指定される尾崎家住宅（宇野）

条例関係

☆子ども・子育て会議条例の制定

平成27年度から始まる予定の「子ども・子育て支援新制度」では、平成26年度前半までに、市町村子ども・子育て支援事業計画を策定しなくてはならない。

この条例を制定することにより、「子ども・子育て会議」を設置し、計画への子育て当事者の意見を反映し、地域の実情を踏まえた子育て支援施策を実施する。

Q. 新制度に向けた今後のスケジュールは。
A. 10月から子育て世代を対象にアンケートを実施し、年度内に回収・集計したい。来年度前半には分析し、計画策定する。

Q. 財源は消費税増税分を充てるとなっているが、増税は未確定では。
A. 国の指針が未定の部

分も多いが、準備作業は進めておかないといけない。

☆町長など特別職及び町職員の給与をカット

税収不足などによる歳入の落ち込みにより、基金を取り崩して対応するという大変厳しい財政運営状況となっている。さらに、このたびの国家公務員の給与削減に合わせて、地方交付

税が削減された。

その財政支援のため、湯梨浜町では、労使合意を得て職員の給与を削減することになった。

今年8月から平成26年3月まで、職員は一律1%、町長・副町長及び教育長は一律2%の削減をする。給与の削減により生じた金額は、子育て・教育環境充実基金へ積み立てる。



楽しいぬりえの時間（東郷保育所）

6月定例会 議案採決一覧

- ◎一般会計・各特別会計の補正予算（2、3ページに記載）については、全会一致で可決しました。
- ◎光井議長は採決には加わりません。

議案の内容 (○：賛成 ×：反対)		増井	寺地	河田	濱中	入江	松岡	酒井	上野	浦木	会見	米田	光井
59	子ども・子育て会議条例の制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
60	新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
61	個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
62	町長等の給与の特例に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
63	町職員の給与の特例に関する条例の一部改正	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
64	町立児童館の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
65	保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
66	財産の無償譲渡（保健福祉センター）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
67	物品売買契約の締結（パソコン購入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
68	長瀬財産区管理委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議 4	議会改革基本問題調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議 5	行財政調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議 6	デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議 7	環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加に関する意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議 8	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

議会基本条例の 制定を目指して

議会改革基本問題 調査特別委員会

委員長 増井 久美
副委員長 入江 誠
委員 寺地 章行
" 上野 昭二
" 米田 強美

基本問題調査特別委員会を設置し、更なる議会機能強化を図る。

行財政調査特別委員会

委員長 河田 洋一
副委員長 濱中 武仁
委員 松岡 昭博
" 酒井 幸雄
" 浦木 靖
" 会見 祐子

平成21年に設置し、継続して議論してきた。一定の前進はあったが、議会としての政策監視及び検証・評価の推進、調査研究の充実など、課題も見えてきた。

また、議会基本条例の制定を目指さなければならぬ。

議員としての立場を再検証し、住民の負託に応えるとともに、住民の声をより一層町政に反映させるため、議会改革

平成21年に設置して以降、①計画的な財政規模の縮小化、②補助金の整理統合・事業の見直し、③組織のスリム化・定数管理の適正化の3項目を重点に調査・検討を重ね、提言してきた。

その一方、効率化やスリム化を求めるあまり、行政施策遂行に歪みが

出していないか、検証する必要がある。

また、自治体の資産・負債状態をきちんと把握し、費用対効果が明確になるように、従来の官庁会計に加えて、企業会計の手法を導入するという公会計改革が進められている。議会としても、住民サービスを主眼に、新公会計制度について調査・研究を進める。

人事案件（敬省略）

◆長瀬財産区管理委員
（平成25年7月14日、平成29年7月13日）

水野 彰（久留）
林 靖（はわい長瀬）
荒石 譽年（久留）
松本 憲一（はわい長瀬）
澤田 浩（はわい長瀬）
河田 修一（水下）
竹歳 哲也（田後）

◆人権擁護委員（候補）
次の方を適任とした。

岩本 美紀雄（はわい長瀬）

陳 情 審 査

6月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

件 名	陳 情 者	審査結果	処 理
違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書	兵庫県伊丹市 井田 敏美	不採択	なし
デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	採 択	政府に意見書を提出
日本の TPP（環太平洋連携協定）交渉への参加反対を求める陳情書	全日本農民組合鳥取県連合会 会長 田中 宏	採 択	政府に意見書を提出
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 本川 博孝 湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 石本 義之	採 択	政府に意見書を提出
子ども・子育て支援新制度の導入に関する意見書提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利		継続審査

一般質問

ここが聞きたい!

7人の 議員が問う

平成 25 年 6 月定例会の一般質問は、第 4 日目の 6 月 17 日（月）に行われた。質問議員 7 人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。



6 月定例会本会議（議場風景）

私は不法係留の問題に対し、十数年前から幾度となく質問を繰り返してきしたが、どう取り組まれ、どう改善されたのか伺いたい。

橋津川に不法係留している船舶はすべて登録してあると思うが、漁船・レジャー船それぞれ何隻停泊しているのか。

また、津波・洪水が発生した場合、不法係留している船舶、また船舶を固定するために不法に河川に打ち込まれている杭などによって、地域周辺に被害をもたらすと考えられるが、併せて伺いたい。



不法係留している船舶（橋津川）

Q 橋津川の不法係留対策は

A 今後とも県と積極的に連携



浦木 靖 議員

答弁（町長）

橋津川は二級河川であり、河川管理者である県と協議しながら進めている。平成 23 年 8 月に、侵入防止ポールを 2

箇所設置するとともに、警告看板を 11 基設置した。

船舶係留用の杭の撤去、橋津川沿いの町道でプレジャーボートなどの上げ下ろし場になっている箇所長尺ポールを設置し、作業ができないようにしている。

今後とも、県と不法係留対策について、積極的に連携していく。

Q 雇用創出へ明るい展望を

A 必要な措置や対策を推進



上野 昭二 議員

今回実施された町議会選挙の中、多くの町民から、雇用創出や拡大を切実に望む声が届けられた。

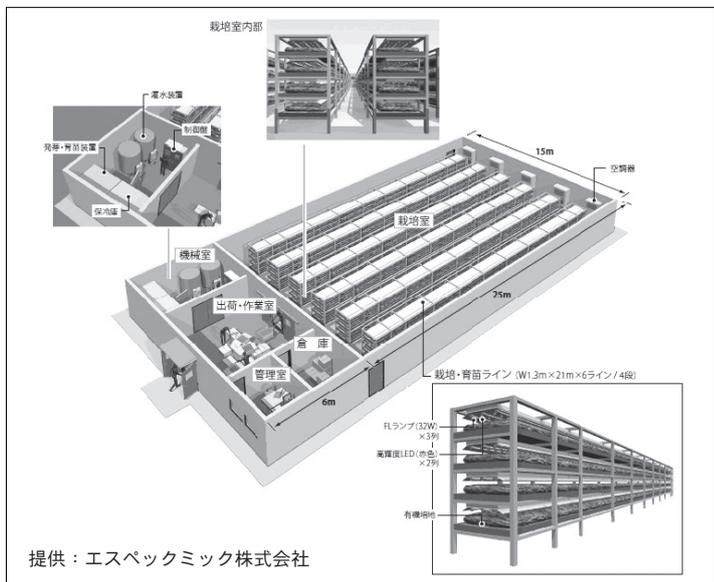
今年度予算の中で、産業振興と雇用創出をめざし「雇用促進奨励金」や「がんばる企業応援奨励金」などを掲げているが、具体的な目標値を持って新規雇用を産みだそうとしているのか何う。

また、町長が常々述べている、誘致企業対策による新卒者雇用の展望と、具体的な目標値を、どの程度に設定しているのか何う。

答弁（町長）

誘致企業対策による新卒者雇用の展望と、具体的な目標値については、新卒者の就労の場は、その求める業種、企業規模などで変わる。

また、募集・応募の範囲も町内で完結するものではなく、具体的な数値目標は持っていない。雇用及び就労の場の確保には、企業などの誘致だけでなく、現にある産業・企業の強化、新たな産業の創出などが考えられる。それぞれの方法に必要な措置や対策を講じ、推進して行くことが肝要と考えている。



提供：エスベックミック株式会社

植物工場で雇用創出を

Q 漁船燃料の高騰対策を

A 漁協と支援策を検討



燃料高騰で出漁を自粛し停泊中の漁船（泊港）

昨年6月定例会でも取り上げたが、今でも漁船燃料費の高騰が続ぎ、沿岸漁業者の生産性（漁獲高）の低下に歯止めが

かからない。アベノミクスによる円安と、原油価格高により、昨年からずっと漁船燃料（A重油）価格の高騰が続ぎ、採算の合わない出漁を敬遠する日が、幾度となく起きています。生産性の低下は、税減収に直結するため、町として税収増、また地場産業の活性化のためにも、燃料費支援に取り組んでいただきたいが、町長の考えを何う。

答弁（町長）

この6月4日、水産庁は平成26年度までの漁業用燃油緊急特別対策として、現行制度のほか、1リットル当たり95円の特別対策発動ラインを超えた場合には、国3に対して事業者1で負担し、国の割合を増やすこととした。

また、このたびの原油価格は、平成20年に町が支援を行ったときの価格より20円程度安い状況である。

直接、重油の購入経費を支援するというよりも、漁協とも協議し、もっと効果的な支援策を検討したいと思っています。

Q 農業・漁業と観光の連携による町おこしは

A 新しい観光コースも検討



松岡 昭博 議員

「東郷湖・未来創造会議」でも提案されているが、農業・漁業振興のため、町内の農産物・魚介類を積極的に観光に活用してはどうか。町内では、四季を通して特色ある農産物・魚介

類が収穫される。主要品目については、特別栽培米など、特色ある栽培法や湯梨浜町を連想させるネーミングにより、広く全国に発信できる産地育成を図ってはどうか。

答弁（町長）

町内の一次産業の観光などへの活用については、梅溪散策ツアー、贈答セット、梨を利用したパイ、魚の海鮮丼など、多くのメニューを提供している。

さらに、今後もすっぽん料理や新しい観光コースも検討している。

主要品目の特別栽培やネーミングは、品質向上やブランド化には必要なことと考えているが、梨を除き、生産量が少なく、ブランド化が図れない実態がある。生産者、関係機関とどのような取り組みができるか検討してみたい。



町の特産品を使った贈答セット

Q 二十世紀梨の生産振興策は

A ブランド化の維持・向上を目指す



袋かけに励む梨農家

維持・発展に向け、今後どのように対応しようと考えているのか伺う。

答弁（町長）

二十世紀梨を大切にすする委員会を中心に、梨再生プランを作成し、梨導入百年事業や新品種、選果場に光センサーの導入などを行っている。生産については、果樹研究同志会が中心となり、新品種の試験栽培や栽培技術の研究などを行っている。

しかし、価格変動や後継者不足で、産地の維持がままならない状況にある。この状況を打破するため、新品種の導入や、省力化を図り、出荷量の確保とブランド化の維持・向上を目指したい。

※松岡議員は、このほか「町民が主役の町づくりについて」の一般質問をしました。

紙面の都合上掲載できませんが、ご了承ください。

二十世紀梨は、全国に誇れる本町の特産物であり、町は平成16年に条例を制定し、町民みんなで産地振興に取り組んでいる。条例に基づき、

今までにどのような独自の施策を実施し、どのような効果があったと考えているのか伺う。また、農業を取り巻く環境が厳しい中、産地の

Q 看護大学設置に関する考え方は

A 必要な支援は行っていく



入江 誠 議員

「中部に看護大学校を」を合言葉に、鳥取短

期大学を受け皿とする、4年制の看護大学校の設置に向けた取り組みが進められている。

定員を1学年80名とし、320名の学生が看護学部・看護学科の学生として学問に取り組む予定だと聞く。

倉吉商工会議所、倉吉



看護大学誘致ののぼり

市自治公民館組織などで「看護大学の中部地区誘致を推進するための署名活動」などの取り組みも活発である。

この状況を受けて、本町としての取り組み方など、町長の考え方を伺う。

答弁（町長）

一番のネックになるのは、資金面だと考えている。

県と地元市町が1対1の支援ではなく、卒業生の就職先を考えると、もう少し県に負担いただくことも必要である。

いくらの金額を中部の市町が、いくらずつ負担するかということは、今後の議論であるが、基本的には医療の安定、あるいは地域振興の観点からも、必要な支援は行っていくべきと考えている。
今後、1市4町で議論を深めていきたい。

Q 産後ケアセンターの設立を

A 町単独での設置は考えていない

産後ケアについては、全国的に整備する時代である。「子育て王国・鳥取」を目指す鳥取県及び本町での今後の取り組みを伺う。

安心して分娩し、産後ケアの充実した町づくりは、将来の人口増には欠かせないことである。産後ケアセンターでは、母親の心身ケア、授乳支援、健康チェック、沐浴や抱き方指導、育児相談を行うことが大切である。

産後うつ病の発症、虐待への発展、第2子以降の出産困難が防止でき



会見 祐子 議員

るのではないかと思われるが、所見を伺う。

答弁（町長）

出産で疲弊した母親の心身のケアや授乳支援など、産後のケアは、多世代同居が減少している状況の中で、ますます重要な事柄になって

いると認識している。「産後ケアセンター」は、全国で来年度はモデル事業、平成27年度から新制度の施策として実施されるもので、今後の動向を注視したい。
本町においては、さまざまな制度・サービスを組み合わせながら、産後ケアの充実を図ってきたい。町単独でのケアセンターの設置は、今のところ考えていない。



ベビーサロン（はわいこども園子育て支援センター）

Q 胃がん対策、
ピロリ菌感染胃炎治療の推進を

A 保険適用の啓発を推進



米田 強美 議員

医師の間では、「ピロリ菌が胃がんの原因である」という事実は今や常識となっている。

ピロリ菌感染が慢性胃炎を引き起こし、胃潰瘍から十二指腸潰瘍、萎縮性胃炎や胃がんへと病状が進んでいく。ピロリ菌感染胃炎をきっちり治療できれば、ほぼすべての胃の病気を防げることになる。

今年の2月より、ピロリ菌感染胃炎の除菌も健康保険の適用が認められた。
今後どのように啓発・推進をやられるか。

答弁（町長）

県中部の胃がん検診率が低いことから、検診の推進を図るため、県市町が合同で「胃がん死亡ゼロのまちプロジェクト」を実施している。

ピロリ菌感染胃炎の保険適用の啓発について、この中で取り組めなにか検討したい。
胃がんリスク検診の導入については、国の研究機関で研究中だが、県の専門委員会でも、今後検討すべき重要な事項と思われるとの発言もあり、今後、国や県の検討状況を注視しながら判断したい。



集団検診で早期発見



フッ化物洗口でむし歯予防

Q むし歯予防、フッ化物洗口の推進を

A 希望者に自己負担で実施

フッ化物洗口のむし歯抑制率は、約45%とほぼ半減できる効果がある。費用対効果は、鳥取県のフッ化物洗口事業

パンフレットで1対約22と出している。公費による事業として、しっかりと推進していただきたい。

また、4歳から開始し、中学卒業まで継続実施することにより、永久歯のむし歯予防に大きな効果を発揮する。フッ化物洗口の情報を公開した上で、小・中学校での取り組みを実施しては。

答弁（町長）

本町では、平成20年度から保育園など6園、平成22年度から全園で、むし歯予防にフッ化物洗口を公費負担で実施してきた。しかし、平成23年度から、家庭での取り組みが大切であるとの考えから、希望者に自己負担で実施している。

答弁（教育長）

小・中学校でのフッ化物洗口については、いくつかの課題もあり、学校現場や保護者のみなさまの協力を得なければならぬ。町歯科保健検討会や学校保健委員会などに諮りながら検討していきたい。

Q 1700万円は福祉・教育へ

A 基金とするやり方も検討



増井 久美 議員

議員定数削減で浮いた1700万円は、町民の教育・福祉・子育てを支援する財源として使ってほしい。町長の考え方はどうか。また、次の5つの政策についてはどう考えるか。

- ① 麻しん・風しん対策について
- ② チャイルドシート購入に助成をすることは
- ③ 不育症治療に助成を
- ④ 母子1か月健診の助成について
- ⑤ 中学生の部活動への助成はどうなっているか

答弁（町長）

職員の人件費削減と同じように、基金に積むことも一つの方法だと思ふ。議会で議論していただきたい。

① ワクチン接種を補正予算化したのが、全額補助はしない。
② すべての住民に貸出できる態勢を取っている。

答弁（教育長）

③ 現時点で要望もなく、助成は考えていない。
④ 必要性は認めるが、まだ検討に至っていない。早々に検討したい。

⑤ 部活は学校教育の一環で行うこととし、学校管理経常経費の中で措置している。部活動以外の各競技団体主催の大会は、補助対象外としている。



子どもを守るチャイルドシート

Q 花見地区周辺は疑問

A 6km圏の自力通学を重視



東郷小学校での意見交換会の様子

3地区での保護者への意見交換会は終わったが、時期が遅かったと思う。今後は、地区住民への説明会をするのか。会場でさまざまな意見が出たが、町民へも報告するのか。また、町長はどうとらえたのか伺う。

答弁（町長）

保護者向け以外にも、今後、住民説明会を実施する。

意見交換会には、3地区で計164名の参加者があった。教育委員会から報告を受けたのでHPで公開する。

建設場所については、生徒の自力通学の観点から、両校の中間点が望ましい。地盤の安全対策については、東郷池周辺はどこも同じ条件であり、いろいろと見極めて決めた。

財政面については、合併特例債で対応可能。

答弁（教育長）

台風などの災害に対しては、臨時校長会で協議し、適切な対応をしている。

通学路の安全確保には細心の注意を払っており、不測の事態の登下校はありえない。

花見地区周辺は冠水地帯であり、地盤改良に多額の費用を要する。また、風俗営業に接した道を通らざるを得ない。新たな土地購入費用、北栄町へ2億3千万の返還と財政負担は大きい。

常任委員会 審議内容

総務産業常任委員会
6月11日ほか1回

◆ゆりはま温泉公社の経営状況

龍鳳閣事業、ハワイゆりたうん事業、売店事業、駐車場管理事業、法人会計の全5会計で、平成24年度は112万9千円の経常利益となる。



水中トレーニング教室（龍鳳閣）

Q. 龍鳳閣はもつと客を呼び込める施設。もつと積極的に町民や中部住民にアピールを。

A. 町外の利用を呼びかける前に、町内の利用を重点的に呼びかける方が重要。平成24年度は子ども会員券で大人も呼び込む取組みをして、家族の利用を促進している。

◆町土地開発公社の経営状況

鳥取県中部町土地開発公社から北栄町が離脱し、湯梨浜町単独の組織となり、名称も湯梨浜町土地開発公社に変更する。

Q. 土地開発公社の解散は全国的な流れだが、本町で検討は。

A. すぐには一般会計に移れない。また、少しではあるが見学希望があり、頑張りたい。ただ、ある程度のところまで区切りを付けないといけないと思う。

Q. 実績は上がってきているようだが、今後の施策は。

A. 看板の設置や、県とタイアップして大阪での定住促進説明会でPRしている。売り上げは一筆ずつだが、上がってきているので、もう少し頑張ってみたい。

◆水明荘の経営状況は

Q. 宿泊客増に向けて、県外客の呼び込みも重要。

A. 水明荘の宿泊客は60歳代以上が圧倒的に多く、料理の量が多いという声をよく聞く。量は少ないが質の高い料理を提供するプランを考えている。また、県外の旅行エージェントを開拓したい。

Q. インターネットでPRしている。

A. HPで宿泊料金やプランを掲載しているが、コスト的な問題もあり、空室照会などのシステムは入れていない。社員ブログやアンケートももっと充実させたい。

Q. 町全体の旅館、観光という視点が無いといけないが。

A. 中部全体では観光客数が落ちている中、水明



ノルディック・ウォーキングを楽しむ人

荘以外の町内旅館は宿泊客が増えている。東郷湖周が、全日本ノルディック・ウォーク連盟の公認コース全国第1号に認定され、町をウォーキングリゾートとしてPRしたい。水明荘でも何か考えていきたい。

町外業者が落ちたとき、町内業者に下請けに出すのか。

A. 中部では本町だけが実施していない。各町の考え方で地元のメリットになるよう設定されている。仕様書の中には下請けに町内業者を使うようにうたっている。

◆最低制限価格制度を導入

町が発注する公共工事における品質を確保し、建設業者の健全育成を図るため、7月1日から導入する。

Q. 業務委託、物品購入で設定しない理由は。

A. 業務委託はほとんどが人件費に係るもので、物品購入では製品価格によるもの。流通価格や業者の仕入れ値を調べるとまではしない。

Q. 近隣町村の状況は。



教育民生常任委員会
6月5日ほか1回

◆子ども・子育て支援新制度

市町村が実施主体となり、地域の保育サービスのニーズに基づき、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子どもや子育て家庭の状況に応じた支援を提供する制度。6月定例会では、平成27年度のスター



七夕まつり（あさひ保育所）

トに向けて、支援会議の設置条例が提案された。

Q. 支援会議ではどのようなことが協議されるのか。

A. 町でどれだけ保育の必要性があるのか、ニーズ調査を行う。調査項目は国から示されるが、それが町に沿った形になるように協議する。来年度には支援計画を策定する。

◆温泉・泊児童館を廃止

条例で定められている児童館は、浜、温泉、泊、田畑の4館。そのうち、温泉、泊の2館は、児童館として使用されておらず、条例から削除する。

Q. 温泉児童館の建物は今後どうされるのか。

A. 現に集会施設として利用されており、地元は無償譲渡することを考えている。

ただ、土地について、駐車場部分は町有地であり、今後協議していく。土地の登記には法人格が必要であり、地縁団体になっていただかないといけない。

Q. 泊児童館の実態は。

A. 「つわぶき荘」内で運営していたが、放課後児童クラブが泊小学校に設置されたことに伴い、児童館としての機能はなくなっている。

◆つわぶき荘を社協に譲渡

「保健福祉センターつわぶき荘」を、6月30日をもって町社会福祉協議会に無償譲渡する。

Q. 土地については。

A. あさひ保育所の送迎用駐車場として利用すること、災害時の避難所として利用することなどを勘案し、評価額の2分の1の金額での売買を予定している。

◆施設使用料の統一を協議

公民館体制を移行するにあたり、町内の公設集会施設の使用料を統一するため、現在協議している。中央公民館、羽合分館、泊分館、羽衣会館、舎人会館、漁村センター、活性化センターはまなすの8施設が対象。アロハホール集会室を基準とする。

Q. 議会で提案した「コ

「コミュニティーセンター」化についての協議は。

A. まずは新しい公民館体制を確立させたいうえで、今後協議していく。

「コミュニティーセンター」となれば、町長部局所管のものも加わる。教育委員会が所管する社会教育については、どう展開していけば一番充実するのかを議論している。

◆健診受診率は向上

保健推進委員の啓発などにより、前年度に比べて受診者数が増加した。

Q. まだ目標値には達していないが、方策は。

A. がんの早期発見によって医療費負担、身体的負担が低下している。実際のデータを示しながら啓発していく。



泊放課後児童クラブ

今回、意見交換会に参加するのに、どうなっていくのか不安に感じていました。話を聞き、子ども達の未来のためにいろいろと考えてくださってありがたく思いました。

今後、安全面や不登校問題など乗り越えなければいけない課題もあると思いますが、町民の方々の意見を聞いていただきながら、子ども達が楽しく通学できるよう切に願っています。



伊藤久美恵さん

(東郷地域)

中学校統合に係る意見交換会へ出席し、町教育委員会からの説明及び保護者や地域の方の意見交換、質疑応答を聞いた。

まだ決定していないと言われましたが、もう既に統合すること、並びに建設予定地は花見コミュニティ周辺に決まっているとの印象だった。保護者や地域の皆さんも納得されていないように感じた。

盛山善人さん

(羽合地域)



「誰もが満足できる中学校」、これは非常に難しい課題です。町内のどこに建てても、誰もが満足できるものにはならないでしょう。

重要なのは、子ども達を災害や事件から守り、勉強や部活動に専念できる環境が整っていることです。それに伴う財政負担は、将来を担う子ども達のためであり、当然だと思います。

大谷たかねさん

(東郷地域)



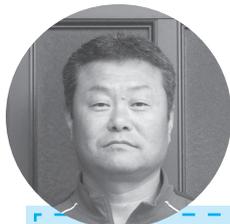
現在の北浜中、東郷中ともに施設の老朽化が進み、統合新築が望ましいと思います。

その中で建てる場所は、自力通学を取るか、災害の少ない場所を選ぶかが問題だと思います。個人的には、災害の少ない場所を希望します。

どちらにせよ、統合新築は将来の子ども達のためにも必要なことだと思います。早急に進めていただきたいものです。

尾川寛信さん

(泊地域)



【町議会議員改選前】北浜中学校と東郷中学校の統廃合については、施設の老朽化、生徒数の減少などの問題により、かねてから議論されてきました。平成24年3月には、中学校統廃合検討委員会から「統合が望ましい。新しい校舎を建設する。具体的な場所については現在の東郷中、北浜中の場所も候補地とし、今後の課題。」との意見書が町長に提出されました。

議会でも特別委員会を設置し、この問題について協議してきました。「より良い教育環境のためには、統合するのが望ましい」という結論を得たものの、具体的な場所や新築なのか耐震改修なのかという点については、結論を出さずに委員会は解散。今後は議会全員協議会で協議していくことになりました。

【町議会議員改選後】6月定例会期中の議会全員協議会で、教育委員会から意見交換会を終えたまとめの報告を受け、町長、副町長、教育長出席のもと議論しました。

議会での議論の経過

中学校統合を考える

5月28日・6月1日・4日に、泊・羽合・東郷の3会場で、教育委員会による「湯梨浜町中学校統廃合にかかる保護者との意見交換会」が開催されました。出席された方に感想をお聞きしました。



青木栄治 さん

(羽合地域)

町の提示する建設予定地に、湯梨浜町の未来的構想をまったく感じない。本来なら町の中心部になるであろう場所に建設し、そこを中心に発展させていくべきである。町の説明にはまったくその思い、構想はなく、大変残念に思いました。

町の未来構想をしっかりと思い描き、湯梨浜町に住みたいと思うような町づくりをしてほしいと思います。

今回、統廃合説明会に初めて参加させていただきました。一人では心細かったので、友人を誘っての参加でしたが、友人はインターネットなどで、今までの経緯を調べていたのには驚きました。私は軽い気持ちで参加したことに後悔しつつ、統廃合に伴う具体的な立地場所・建設費用などの説明を聞き、通学・部活動・授業などのさまざまな問題があることに驚かされました。

今回の説明会で、羽合地区・東郷地区・泊地区のメリット、デメリットがあり、私はどの候補地が良いのか、今は決められません。

今回の説明会の参加者は大変少なく、これから先、湯梨浜町にかかわっていくだろう小さなお子様をお持ちの人にも参加していただき、一緒に最良の選択を考えていただきたいと思います。そして、後世に伝え自慢できる素晴らしい中学校を作っていきたいと思いました。



栗田真由子 さん

(泊地域)

「意見交換会という名目だったが、教育委員会の考え方の説明会になってしまった。そのため、決定事項であると誤解している人が多い。」という意見や、「教育委員会の権限はどこまで及ぶのかはつきりさせないといけない。財政の話になると町長部局の管轄。町が主導的に進めるべき。」などの

意見が出されました。町長からは「出ている課題に対してどういう解決策があるのか検討し、それから議会に諮る。その後、住民説明会に臨みたい。その際は、3地区ではなく、もっと小さな単位で行う。」との返答がありました。最終的な建設場所については、今後も継続的に議論していきます。



北浜中学校と東郷中学校

開かれた議会を目指して

発行／鳥取県東伯郡湯梨浜町議会

〒682-1072

鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留19番地1

【電話】0858(35)5341

湯梨浜町のホームページで、議会の動画がみられるのはご存知ですか？

年4回の定例会の様子はケーブルテレビでご覧いただけますが、議会全員協議会や常任委員会の様子も撮影しています。固定カメラの映像なので議員の表情までは分かりませんが、自由な討議が行われる会議なので、臨場感はたっぷりです。

ぜひご覧ください！

◎湯梨浜町行政情報ページの右下に「議会録画中継」とありますので、クリックしてお進みください。(右図)

見やすく編集しています



動画編集作業は、議会広報常任委員会の動画班2名で行っています。(河田委員・米田委員)なるべく早く皆様のもとへお届けできるようにがんばっています。

掲載容量の関係から古い録画は順次削除し、新しい録画に更新します。今号がお手元に届くころには、6月定例会期中の委員会などの様子を掲載する予定です。

議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎ 35-5341 FAX 35-3697 ✉ ygikai@yurihama.jp

あなたの声をお待ちしています。

編集後記

八月は平和について語る月。平和に思いをはせる月。

昭和二十年八月六日、広島に世界初の原子爆弾が投下され、九日には、長崎に投下された。そして八月十五日に終戦を迎えた。あれから六十八年が経過し、戦争体験者もだんだんなくなり、戦争について語られることも少なくなつた。だからこそ語らねばならぬ。語り継がねばならぬ。「戦争は二度としちゃあいけん」と、晩年語り続けた父も、この春に世を去つた。父の言葉を胸にききむ八月である。

(記 増井)